

今週（12月9日から12月13日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高が389～396兆円近辺での推移となった。無担保コールO/Nは、先週からの流れを引き継ぎ、調達ニーズが非常に強い状態が積み期間最終日にあたる週末13日まで続いた。無担保コールO/N加重平均レートは、週を通して▲0.01%を上回り、調達ニーズの強さを反映する結果となった。ターム物は、年内期日のショートターム物で▲0.03%前後での出会いが複数見られた。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、積み期間最終日に向けた資金調達ニーズの高まりを反映してか、12日までは週を通して非常に軟調な展開となり、一部では0%以上の出会いも見られた。新積み期入りした13日にはレートが▲0.10%付近まで低下した。週間のレンジは▲0.105～+0.005%であった。

SC個別銘柄では2Y402～407、5Y136～141、10Y336～356、20Y168～170、30Y59～64、40Y9～12などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、債券相場全体が弱含みの展開となる中、ファンディングレートの高止まりもあってか、週半ばまでは軟調なマーケットとなった。一方、13日は、レポ市場が新積み期に入ってファンディングレートが低下したこともあってか、3M物が▲0.140～▲0.135%程度で出合うなど堅調に推移した。

9日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.110～▲0.105%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.1036%、按分落札利回▲0.0996%と、先週末の3M入札同様、非常に弱めの結果となった。一方で、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.119～▲0.105%と堅調に推移した。

11日に実施された短国買入オペは、2,000億円でオファーされた。平均落札利回較差+0.052%、按分落札利回較差+0.041%と、在庫調整の売りから弱めの結果となった。

13日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.135～▲0.126%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.1284%、按分落札利回▲0.1154%と、前回債からレートが低下する結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.140%出会いと強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、15日をはさむ発行があり、電気機器、小売、ガスを始めとして幅広い業態で大型発行があり、活況なマーケットとなった。週間の金額ベースで見ると、7,900億円程度の償還に対して、9,800億円程度の発行と、発行超の市場となった。事業法人の冬のボーナスや株式の配当、法人税対応による資金需要の強さが市場残高の増加を牽引している。その結果、12日時点では、発行残高が2008年以來の22兆円台に到達した。発行レートについては、特に期内物に飽和感があり、一部ではプラス圏にかかる銘柄も見られたが、期越え物については引き続きマイナス圏が中心となっている。市場残高の増加や他市場でのレート上昇を要因に、0%付近の出会いが増加した。

13日にはCP等買入オペが2,500億円でオファーされた。市場残高が高水準であることや、月初の予定額より500億円減額されたことから、平均落札レート0%、按分レート▲0.001%と、前回比（平均0.005%、按分▲0.001%）で平均レートのみ低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
12/9 (月)	23,430.70	△ 0.010	108.58	△ 0.008	△ 0.017	3,926,300
12/10 (火)	23,410.19	△ 0.025	108.64	△ 0.008	△ 0.017	3,920,300
12/11 (水)	23,391.86	△ 0.005	108.74	△ 0.008	△ 0.006	3,895,600
12/12 (木)	23,424.81	△ 0.025	108.58	△ 0.009	△ 0.003	3,896,300
12/13 (金)	24,023.10	△ 0.025	109.50	△ 0.008	△ 0.099	3,963,200

来週（12月16日から12月20日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
12/16 (月)	10月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 10月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)			
12/17 (火)		20Y 9,000億円 12/18発行		11月の米住宅着工件数 11月の米鉱工業生産・設備稼働率
12/18 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~) 11月の貿易統計(財務省 8:50)	TB1Y 19,000億円 12/20発行		11月のユーロ圏消費者物価指数改定値 11月の英消費者物価指数
12/19 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30)			英中銀MPC結果発表 11月の米中古住宅販売
12/20 (金)	11月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 7-9月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 月例経済報告(内閣府)	TB3M 43,400億円 12/23発行	流動性供給 6,000億円 12/23発行	7-9月期の米GDP確報値 7-9月期の英GDP確報値 11月の米個人所得・消費支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/16 (月)	▲ 1,600	1,600	0	国債買入 CP買入 ETF買入 貸出増加支援 国債補完	 ▲ 500 ▲ 17,600 100	11,900 100 20,600	14,600	14,600	TB3M発行▲43200償還42800 2Y償還5400/TB2M発行中止 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲5200 個人向け3・5Y償還100
12/17 (火)	▲ 3,000	1,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
12/18 (水)	▲ 3,000	▲ 7,000	▲ 10,000	CP買入		2,500	2,500	▲ 7,500	20Y発行▲9000
12/19 (木)	▲ 4,000	2,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
12/20 (金)	▲ 4,000	84,000	80,000	被災地支援	▲ 100		▲ 100	79,900	国債の大量償還・利払い 恩給 TB1Y発行▲19000償還15700 5Y発行償還18200 10Y償還47100 交付税借入▲10500期日10500 エネルギー対策借入▲6000期日5500
週間合計	▲ 15,600	81,600	66,000	—	▲ 18,100	35,100	17,000	83,000	

12/16は日銀予想、12/17以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新積み期間となり、これまでのレート上昇圧力が一旦和らぐと思われる。ただ、邦銀を中心に一定の調達ニーズが見込まれる。レポ市場は、新積み期入り直後となるため、資金ニーズの動向が注目される。短国市場は、18日に1Y物、20日に3M物の入札が実施予定となっている。海外勢がクリスマス休暇に入中、2回の入札が順調に消化されるかどうか、市場動向が注目される。CP市場は、年末にかけて企業の資金需要がピークを迎えることから、市場残高がどこまで増加するかに注目が集まる。

主要なイベントとしては、国内では18~19日に金融政策決定会合、20日に11月の全国CPI、海外では18日に11月の英国CPI、19日にMPC結果発表、20日に7-9月期の米GDP確報値、7-9月期の英GDP確報値などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入